職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日			校長名			所在地	听在 地			
旭川情報ビジネス専門学校		昭和62年1月12日			マップ 東京		070-0038 北海道旭川市8条通	7丁目2363番地7				
						(電話) 0166-25-3555						
設置者名	設立認可年月日		日	代表者名								
学校法人旭川志	峯学院	昭和26年3月9日			中川 竹志	·川 竹志 (住所) 北海道旭川市永山7条16丁目						
分野	 認定課程名	定課程名		学科名		0166-48-1221 『士認定年度	高度専門士認定	2年度	職業実践専	厚門課程認定年度		
工業					4月111112 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			-	- 1 /2	1,32,132,130	-	
				て、即戦力となりうる人材を育成する。					Į.			
学科の目的	工業分野の情報システム科に必要な専門的知識・技術の習得を徹底させ、情報化社会を推進する実力のある技行(2) 豊かな人間性と知的な教養のある人材を育成する。							実力のある技術者の育	成をめざす。			
	職業を通して習得した技術を生かし、社会の発展、充実に貢献する強い意志と使命感をもった信頼できる技術者の育成をめざす。											
学科の特徴(取得	•情報処理	国家試験の	の取得を目	旨すことによって	、上級プログラマ	としての即戦	は力となる人材を養成し	、また、プログラム実	習などを通じ	て創造力、	自主性および協調	
可能な資格、中退 率 等)			いな技術者で り中退率は6		対化任芸に必要と	される多様な	が情報活用能力を育成	し、社会が要請する幅	払い人材を i	可以する。		
修業年限	日本	全課程の	修了に必要	な総授業時数又	スは総	義	演習	実習	実駒	s l	実技	
多 <u>未</u> 午收	昼夜		単位	立数			次日		大利			
2	昼間	※単位時間、 かに記入	、単位いずれ	1,808 単位	-	単位時間	1,184 単位時間	0 単位時間		単位時間	0 単位時間	
年		がに記入		〇〇 単位	00	単位	〇〇 単位	〇〇 単位	00 1	単位	〇〇 単位	
生徒総定員	生徒到	€員(A)	留学生数(生徒実員の内数		(B) 留学生書	引合(B/A)						
40 人	33人 0人 0%											
40 /		■卒業者数(C)		: 13人								
	■就職希	望者数(D		: 13人		Ž.						
	■就職者数 (E) : 13人 人 ■地元就職者数 (F) 4人 人											
	■就職率 (E/D) 100 %											
	■ 就職者に占める地元就職者の割合 (F/E) 31 %											
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)											
	100 % ■進学者数 0 人											
就職等の状況	■モナ自奴 0 人											
	(令和 4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)											
	■主な就職先、業界等											
	(令和4年度卒業生) 株式会社明円ソフト開発(IT)、日高信用金庫(金融)、株式会社北海道ジェイ・アール・サービスネット(鉄道関係)											
AV +1 - 1 - 7			等から第三 Fについて任				無					
第三者による 学校評価	※有の場合、例えば以下について任意記載											
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	評価団体: 受審年月: ポームページU											
当該学科の												
ホームページ URL	https://bi	ica.ac.jp/										
OILE	(人、単位は関による管守)											
	(A:単位時間による算定) 総授業時数								1 000 à	× /± n+ 88		
									1,808 単位時間 0 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 うち企業等と連携した演習の授業時数											
		うち必修授制							112 単位時間 1,808 単位時間			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の技					はの母業時数					
									0 単位時間 112 単位時間			
	(うち企業			うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 等と連携したインターンシップの授業時数)					0 単位時間			
企業等と連携した 実習等の実施状況									U I	- [五14][1]		
(A、Bいずれか	(R. \(\mathre{\mathred}{\mathred}\)	7米ケ/ニ トスセ	首定)									
に記入)	(B:単位数による算定) 総授業時数								00 i	i 位		
	だ技术呼吸 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数							100				
				と連携した演習					100			
			うち必修技		/JAM934				100			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数							100			
				うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					100			
			(うち企業	うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					100			
	(ソり止未守C)迷修しに1 ノダーノンツノの授業時数)								50 !			
	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算											
									2 ,	l.		
	して六年以上となる者											
	② 学士小学坊太方才又来等 (本格學於乳栗甘維如紅及佐瓜香加口)							E000 - 1				
教員の属性(専任 教員について記 入)	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)								0 人			
								(第3号)	0 A			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)							(第4号)	0 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)							第5号)	0 人			
	ät								2 人			
	ト記①~⑤のうち 宝婆家教員 (公照におけるおおわりを中国との宝婆の奴除たち) かっ 育在											
	上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度 の実務の能力を有する者を想定)の数 2 人											
							-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				